

宮城県行政評価委員会政策評価部会 (令和7年度第3回)

日 時：令和7年7月23日（水曜日）

午後3時から午後5時まで

場 所：宮城県行政庁舎6階 企画部会議室
(対面、オンライン併用)

1. 開会

2. 議事

- (1) 令和7年度政策評価・施策評価に係る県民意見について
- (2) 令和7年度政策評価・施策評価に係る審議について
- (3) 令和7年度政策評価・施策評価に係る答申案について

3. その他

4. 閉会

○大場課長補佐兼企画員（班長） 定刻となりましたので、ただいまから「令和7年度第3回宮城県行政評価委員会 政策評価部会」を開催いたします。

なお、本日の行政評価委員会政策評価部会は、対面方式とリモート方式の2つの形式で実施されます。リモートで参加される方に配慮し、御発言の際はお手元のマイクを御使用ください。また、ハウリングの恐れがあるため、御発言時以外はマイクの電源をお切りいただきますようお願いいたします。

はじめに、本日お集まりの委員の皆様及び県職員について、お配りしております次第の次ページに出席者名簿がございますので、紹介に代えさせていただきます。

続きまして、定足数の報告をいたします。本日、丸尾委員から欠席報告がなされております。また、高山委員から学内会議のため、冒頭より30分ほど遅れて参加される旨の御連絡をいただいておりますので、御了承ください。

本日は、佐藤部会長をはじめ、8名の委員に御出席いただく予定です。

行政評価委員会条例第4条第2項及び第6条第6項の規定による定足数を満たしておりますことから、会議が有効に成立していることを御報告いたします。

次に、会議の公開についてですが、行政評価委員会運営規程第5条の規定により、当会議は公開といたします。正確な議事録作成のため、本会議は録画等させていただきますので、御了承ください。

それでは、次第2の議事へ移らせていただきますが、ここからの進行につきましては、行政評価委員会条例第4条第1項及び第6条第6項の規定により、佐藤部会長に議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○佐藤部会長 委員の皆様には、暑いところまたお忙しい中、取りまとめの最終回となる部会に、県民代表として忌憚のない御意見をいただけますよう、本日もよろしくお願いいたします。

それでは早速議事に入らせていただき、議事1の県民意見について、事務局から説明をお願いします。

○武田企画・評価担当課長 それでは、県民意見の提出状況について、資料1で御説明をさせていただきます。いわゆるパブリックコメントについて、意見募集を行っております。

1の意見募集期間は、6月11日から7月11日までの31日間実施いたしました。

2の意見の提出方法については、県のホームページ上での申込みフォームによる提出に加え、従来どおり郵便、ファクシミリ、電子メールとなっております。

3(1)の資料の提供方法につきましては、従来と同様にインターネットでの掲載の他、県庁内の県政情報センター及び合同庁舎の県政情報コーナーで資料を配架しております。ま

た、県議会図書室での公表も行いました。

周知方法につきましては、できる限り多くの媒体での広報に努め、具体的には3（2）の①から⑦に記載のとおりとなっております。今年度は新たに②ミヤギテレビのデータ放送での配信を行った他、⑦のチラシ配布のうち、・3つ目、県庁1階で行われた県民ロビーコンサートでのチラシ配布の際、配布するだけでなく来場者に向けて意見募集の趣旨を説明した上で呼びかけを行いました。

その他、資料には特に記載しておりませんが、意見募集のチラシにQRコードを掲載し、意見募集ページへすぐに飛べるようにアクセス性を改善しております。また、Xでポストを行う文面を、生成AIを活用し、文字制限のある中でより分かりやすい表現となるよう改善を図りました。

御意見につきましては、次のページに記載のとおり、平成30年度以来7年ぶりに1件頂戴いたしました。

しかし、評価の内容に直接関係するものではありませんでした。土葬墓地に関するもの、全国知事会長である知事に対する御意見、そして知事の公務出張に関する旅費のクレジットカード決済にかかる御意見でした。

評価原案に対するものではなかったため、県の対応としましては、担当部局に参考送付し、業務の御意見として承り、参考とさせていただきました。この意見に対する県の対応については、評価書を取りまとめた後に改めて公表させていただくことにしております。

資料1の説明については以上でございます。

○佐藤部会長 今回の件について何か御質問や御意見はございますか。

直接評価には関係ないということでしたが、よろしいでしょうか。それでは次の議事へ進めさせていただきます。

令和7年度の政策評価・施策評価に関する審議を行いますので、資料2を御覧ください。これまでの部会で各委員からいただいた質疑と、担当課室の回答を全てまとめたいただいたものが資料2になります。本日審議の参考にしていただければと思います。

そして、次の資料3には答申案が掲載されております。5ページのIVに審議結果一覧表があり、最終的な評価をしていただきます。そして、7ページ目Vで評価原案に関わる委員からの意見が記載されております。

既にこれまでの部会で委員の皆様からいただいた意見が部分的に入っておりますので、その確認と、またそれぞれの政策・施策で委員会の意見として空欄のところがあれば埋めていただくことになります。

事務局から御説明いただけますでしょうか。

○武田企画・評価担当課長 資料2についてですが、こちらは先ほど部会長からお話いただいたとおり、事前に皆様にお送りさせていただいております。

詳細の説明は省かせていただきますが、第1回、第2回の部会でのヒアリングを行った施策や、ヒアリング対象ではない施策に対する事前質問の御意見・質問を項目別に区分けしており、御質問とそれに対する県側の回答を振り返っていただくためにまとめたものでございます。

それを踏まえまして、資料3の答申案についてです。先ほど部会長からお話いただきました、後半部分のIVは審議結果の一覧表となっております。こちらの委員会の「適切」または「要検討」の判定については、これから御議論いただきます8つの政策とそれにぶら下がる18の施策のうち、現在「適切」と記載されているものは、第1回、第2回部会での審議を踏まえ、いただいた御意見を基に仮の判定状況を記載しているものになります。

これに加えて、V評価原案に係る宮城県行政評価委員会の意見として、これまでいただいた様々な御意見から、政策・施策ごとに意見として載せた方が良いという内容を事務局で整理いたしまして、叩き台として書かせていただいているものになります。これから御議論いただきまして、この叩き台について修正や追加をお願いしたいと思います。

また、本日御欠席の丸尾委員からは、事前に政策・施策に対する判定や付すべき意見を頂戴しております。丸尾委員が御担当の施策15、関連する施策16、そしてそれらを総括する政策7について判定をいただいております。これらについて、評価原案は全て「やや遅れている」としておりましたが、それに対して、評価は「適切」であるとの判定をいただいております。また、御意見欄に記載いただいた内容は、「適切」と判定した理由を記載していただいております。

説明は以上になります。

○佐藤部会長 ありがとうございます。本日欠席の丸尾先生の事前の意見があることと、高山先生が後ほど遅れて参加される予定になっておりますので、それまで審議が進んでいる部分も改めて高山先生にも確認いただくようにしたいと思います。よろしくお願いします。

それでは早速、最終判定、あるいは追加の意見等について、一つずつ審議をさせていただきます。進め方としましては、例年どおり、まず政策1を構成する施策が3つあり、施策1、2、3の最終判定と御意見をいただき、その上位である政策1について、部会としての最終判定をしていただきます。

したがって、各施策について先に評価いただき、その後に政策を評価するという進め方でございます。

それでは、施策1から判定作業を進めていきたいと思います。

これは仮判定でしたでしょうか。既に「概ね順調」で「適切」と入っております。仮判定なので、最終的に仮判定のままで良いかどうか確認も合わせて行います。

施策ごとに、御意見も合わせていただきます。施策1の意見としては、既に入っておりますので、この内容の確認と、さらに追加があればお願いしたいということです。

いかがでしょうか。仮判定について変更があるか、追加の意見があるか、いかがでしょうか。特に意見はないでしょうか。

これはヒアリングをした施策でした。一番最初に、皆様から事前の質疑もヒアリングでもかなり時間をオーバーするぐらいのやり取りがあったと思いますが、追加の意見も含めていかがでしょうか。もう十分でしょうか。

事前の質疑をいただいたのは西川先生、舘田先生と佃先生、高山先生はいらっしゃいませんが、いかがでしょうか。

○西川委員 1回目の時にかなり意見を言わせていただいたのですが、NanoTerasuも入っており、それを支援している点が、県としてまだ十分ではないのではないかという点など、少し見えにくいという点で意見を述べさせていただきました。ただ、全体的には「概ね順調」ということでしたので、皆様も「適切」と判断されていまして、これは変えることはないと思います。

しかし、舘田先生もそうですが、これまで準備して進めてきて順調に進んでいるものの、これからが実際に勝負になってくる段階です。そのため、ビジネスとのマッチングも含めて、県としてもしっかりと対応してほしいという要望がございます。ここまでは順調ですが、これからが勝負という意見です。私からは以上です。

○舘田副部会長 先日の意見を書いていたので、私は企業誘致の件数だけでなく、増床などもうまく記載してもらえると良いのではないかと申し上げて、書いていただい

たと思います。したがって、ここについては「適切」であり、これ以上の意見はありません。

○佐藤部会長 ありがとうございます。この意見は次年度すぐにというわけでもなく、我々部会として繰り返し言い続けていることなども含まれているかと思います。

やはり言い続ける、あるいは遠慮なく意見を付すということは、私たちがむしろやらなければならないことだと考えておりますので、本日は最終回なので遠慮なく意見を追加でいただきたいと思います。

佃先生も特にありませんか。

○佃委員 はい。ヒアリングの時に御回答いただきました。マーケティング的なことも今後していかなければならないという印象を受けましたが、先ほど佐藤部会長がおっしゃったように、単年度でできる話ではないと思いますので、そのことを頭に置きながら長期的に取り組んでいけば良いのではないかと考えております。今回の判定としては提案のとおりでよろしいかと思います。

○佐藤部会長 はい、分かりました。他の委員の皆様もよろしいでしょうか。

最終判定として「概ね順調」で「適切」の最終判定とし、既に入っている意見に加え、特に追加はなしということでもよろしいでしょうか。

それでは次に進ませていただき、施策2です。

こちらは新たに最終判定をしていただく必要があり、「やや遅れている」となっています。いかがでしょうか。事前に質疑をしていただいたのは金田先生と舘田先生でしょうか。高山先生はまだいらっしゃっていないので、いかがでしょうか。

○舘田副部会長 「やや遅れている」で「適切」で良いと思うのですが、昨年度も「やや遅れている」だったかどうか分かりますか。

○武田企画・評価担当課長 昨年度も「やや遅れている」です。

○舘田副部会長 そうすると、1年ですぐに進まないにしても、何か改善できたとか、その「やや遅れている」に対して「もう少し頑張っただけ」というコメントをつけても良いかなと思いました。

○佐藤部会長 課題と対応方針が十分でないということを表しているのかなと思います。

○舘田副部会長 そうですね。

○佐藤部会長 改善がうまく進んでいないということは、結局、他の施策にも共通する指摘だとは思いますが、重要な意見なので入れていただければと思います。

施策2の原案については「やや遅れている」でよろしいですね。他の先生方、いかがですか。あるいは御意見でも結構です。

それでは、「適切」の最終判定とし、舘田先生からいただいた意見を付すこととさせていただきます。

次は施策3ですね。これは「概ね順調」で仮判定済みです。「適切」にしてあり、意見も既に入れていただいておりますが、いかがでしょうか。

施策3も西川先生と舘田先生からかなり事前質問がありました。仮判定では「適切」にしておりました。

○西川委員 私からは、全体的にはA評価も結構ありますので、「概ね順調」で「適切」ということになったのだと思います。

しかし、農林水産業については、温暖化の影響もあってかなり影響を受けているので、県としてもしっかりとサポート体制をとってほしいというのが、これまで通りですがお願いしたい気持ちが強いです。

ただ、取組としては「概ね順調」で良いのかなと思っておりました。以上です。

○佐藤部会長 館田先生はいかがでしょう。

○館田副部会長 私も判定は「適切」で良いと思います。意見も言わせていただいた内容も入っていますし、やはり環境が厳しいので県だけの施策でどうにもならない部分もあるかと思うので、引き続き西川先生がおっしゃったように、色々と御支援頑張ってくださいという感じかと思います。

○佐藤部会長 施策3は菅原先生も質疑がありました。何かありますか。

○菅原委員 特にないです。大丈夫です。

○佐藤部会長 それでは、仮判定の「適切」を最終判定とし、既に入れていただいている意見でよろしいでしょうか。特に意見もなさそうなので、そのようにさせていただきたいと思います。

そして、政策1になります。全体として、西川先生が政策1について御意見を事前にあつたようです。

○西川委員 私が意見したのは、この分野だけでなく県庁全体のことで、人材育成をしっかりしてほしいという点です。

人事ローテーションなどの仕組みはあるものの、十分に技術職員の能力を活かしきれているのかという点については、少し疑問があると感じています。人事制度に関わる部分なので、あまり言うと怒られてしまうかもしれませんが、「概ね順調」、「適切」で良いと思います。気持ち的にはそのような意味で話させていただきました。なかなか他県と比べても、公的機関の研究体制が十分ではないのではないか、能力を発揮できていないのではないかといいところを少し話ただけで、これは別に書かなくても良いですがそういうことを話した次第です。

○佐藤部会長 意見として付けなくてよろしいですか。

○西川委員 ローテーション制度は確かに大事な部分だとは思いますが。

○佐藤部会長 個別の政策・施策ではなく答申の全体の意見のところに入れますか。

○西川委員 やはり県として、もう一度考えなければならぬのだと思っています。特に技術職員の活用について、能力が十分に発揮できていないのではないかといいところは少し思っているということです。難しい課題になりますかね。

○佐藤部会長 事務局、いかがでしょう。政策・施策評価に関することとは、内容的にどうでしょう。

○武田企画・評価担当課長 確かに、かなり高い視点での話にはなります。

ただ、委員会の意見ということであれば、答申に書いていただくことを妨げるものではありません。すごく高いレベルの一つ、組織的な話にはなってきます。

この後で御審議いただく、答申の中の政策・施策の課題と対応方針についてというところで、実際にこういう課題があるので、検討といいますか、そういう考えで進めてほしいという趣旨で書いていただくことはできるのかなと思います。

○佐藤部会長 いかがでしょう。それでは、政策1は「概ね順調」の原案に「適切」で、ここでの委員会の意見としては空欄のままにして、西川委員の話は答申全体のところに適切に文章を入れていただくということでよろしいでしょうか。

それでは次に、施策4です。「やや遅れている」が原案ですが、いかがでしょう。

どうぞ遠慮なく御自由に御発言いただければ、進行も助かります。特にない場合は「適切」の最終判定で、意見も特になしという場合もあると思いますが、よろしいですか。

○大場課長補佐兼企画員（班長） 高山先生が今入られたようです。

○佐藤部会長 高山先生、聞こえますか。

○高山委員 聞こえます。遅くなりました、申し訳ございません。

○佐藤部会長 いえ、とんでもないです。最終判定作業に入っておりまして、今ちょうど政策 1 の施策 1 から 3 と、それから政策 1 全体の最終判定までしたところでした。特に仮判定していた部分や、既に部会でいただいた意見は、そのとおりという感じで進んできております。

施策 4 の審議中ということで、こちらの原案「やや遅れている」について、いかがでしょうか。政策 1 の先に進めていた部分については、高山先生も大丈夫でしょうか。事前のヒアリングでも色々やり取りがありました。

○高山委員 大丈夫です。違和感ないです。

○佐藤部会長 施策 4、改めていかがでしょうか。

○高山委員 施策 4 も「やや遅れている」で「適切」で良いかなと思っております。

○西川委員 「やや遅れている」で「適切」で良いと思います。しかし、やはりこの内容を見ると、所定外労働時間数や、第一次産業における新規就業者数がずっと D できているので、何かしら政策・施策のところでもう少しサポートが必要なのかなとは思っていました。「やや遅れている」で良いのですが、もう少し何か新しい手立てがないのかなと思っていました。

何があるかと言われると困るのですが、なかなかそのあたりは難しいところかもしれませんが、先ほどの施策 3 などにも共通してくるのですが、産業人材を育成することはかなり大事な部分ですので、やはり県を支える産業という形で、人材育成はもっと積極的に取り組んでほしいという意味でございます。以上です。

○佐藤部会長 今の西川先生の御意見は施策 4 の意見としてよろしいでしょうか。

低迷しているという表現ですかね。なかなか改善できていない施策、他にもあるかと思えます。D 判定になっているようなものとかですね。共通性があるかと思いますが、低迷と言ってしまって、表現が的確かどうか分かりませんが、そういう意味ですよ。

○西川委員 はい。そこは事務局にお願いします。

○佐藤部会長 課題と対応方針が的確ではないから、簡単な話ではないにしても、目標達成のためには十分でない、結果がそうになっているということではありますね。

○高山委員 ほぼ同じなのですが、D のもので D が連続している部分、先程舘田先生がおっしゃった部分、それに近いと思うのですが、本当は変えなければいけないとか、やめるものはやめなければいけないということがあるのだろうなと思いつつ、その辺が毎回見えないというのか、良いところだけが報告されているというのが少し気になっているところです。

明確に、D やマイナス評価が連続している場合に関しては、どの部分が改善、意図的に変更した部分なのか、変えようと思って、また D だったものは全然しょうがないと思いつつ、きちんとそこの部分が見えるようにしてほしいです。

先程の西川先生の話とほぼ一緒だと思うのですが、今回で言うと、就業率は一緒ですが、一次産業への就業というところが全部 D が連続しているので、そのあたりは何を変えようとしたのかというところを明確にしていきたいということは要望としてあるかなと思いました。以上です。

○佐藤部会長 施策 4 の意見として入れていただくのは良いと思うのですが、答申のⅢのところに政策・施策における課題と対応方針についての全体の意見というのがあるので、ここに既にもう、今先生方からいただいている意見にならないようにきちんと分析して対応していくようにお願いします、というような内容が入っております。

なかなか改善できていないのであれば、やれることはあるのではないかということですよ。ここにも上手に入れ込めると良いのかなと思ったのですが。

- 武田企画・評価担当課長 おっしゃるとおり、答申の3、4ページにかけてのところにも、そのような趣旨は入れているつもりなのですが、原案では昨年度と同じ形ですが、先ほどおっしゃられたような、指標が具体的にD、D、Dと続いているものについては、もう少し具体的に入れて、自分がやっている施策のことだと捉えてもらえるようにするというのも、少し全体的すぎると、自分のところではないと捉えるかもしれないので「この施策のことも入っているのだ」と捉えてもらえるよう、もう少し刺さるような表現にしたいと思います。
- 佐藤部会長 そうですね、その方向で答申案の文案も加筆していただくようにしていただければと思います。答申案の最終案はまたメール審議で御確認いただきますので、「あの時の話がここになっているな」と見ていただければと思います。貴重な委員会としての意見だと思います。

それでは、施策4は「やや遅れている」で「適切」で、既に入れていただいている意見と、答申にも意見をさせていただくということとさせていただきます。

次は施策5ですね。こちらは「順調」の原案ですが、いかがでしょうか。ここは資料2で高山先生だけが御指摘いただいていたところでしょうか。よろしいでしょうか。

- 館田副部会長 目標指標から行くと「順調」というのでも良いのかなと思うので、「適切」でも良いかなと思います。ただ、施策5の実現に向けた方向性というところには、ものづくりや農林水産業、観光業の様々な産業の復興や振興といったことが書かれていますが、指標には取扱い貨物や空港、インターチェンジなど大きなインフラのことしか書いていません。
- 意見としては、インフラなどの目標指標からだと「適切」で良いのですが、農林水産業の高付加価値化などについての成果が定性的にちらっとしか書いていないので、もう少しその辺がはっきりと分かるような説明が欲しいなと思いました。また、今後目標設定する時に、その辺りの産業にどれくらい貢献したかというあたりの値もしっかり入れてほしいなと個人的には思いました。インフラの値だけだと、特にコロナの後は大きく上昇しているので、どうしてもこういう評価になるのですが、もう少し県民生活に密着した目標指標が欲しいなと思います。

- 佐藤部会長 ありがとうございます。施策5の意見として付させていただきたいと思います。「順調」としては良いのではないかという御意見ですね。よろしいでしょうか。それでは「適切」とさせていただきます。

そして、政策2が「概ね順調」の原案です。私個人的に気が付いていたのですが、2つの施策で構成されている政策が他にもありまして、施策の原案の組み合わせが、「順調」と「やや遅れている」という原案に対して、政策が「やや遅れている」という場合と「概ね順調」というのがあります。悩ましいなと思いました。施策の原案の組み合わせとして、政策の評価が必ずしも同じでなくても良いとは思いますが。

例えば、政策3は2つの施策が「やや遅れている」と「概ね順調」なのですが、政策としては「やや遅れている」という原案を出しているのですが、今の政策2は「やや遅れている」と「順調」です。「順調」だからか。「概ね順調」ではなくて「順調」というのがあるから上位だということか。

ということだと、後で出てくる最後の政策8が少し悩ましいと思います。政策2は確かに施策5が「順調」だからですね。いかがでしょうか。

政策2は「概ね順調」で「適切」で、特に意見はないということでよろしいでしょうか。よろしければ次に進ませていただきます。

施策6、こちらは「やや遅れている」ですが、いかがでしょうか。

- 狩野委員 施策6の意見に数字の変更というところを書いてあるのですが、意見としてこれ

は適切なのでしょうか。事実をただ書いているだけなので、意見というよりは、元の資料を訂正いただければ済む話なので、意見としてはここに記載しなくても良い内容かなと思います。評価原案としては、昨年おそらく「概ね順調」でしたよね。

○武田企画・評価担当課長 昨年度も「やや遅れている」でした。

○狩野委員 失礼いたしました。「やや遅れている」で「適切」だと思います。

○佐藤部会長 今の修正するところは、特に意見ということではなくていいですね。

○菅原委員 「やや遅れている」ということなのですが、少し迷っていて、どうなのだろうなと思うところもあります。

評価を踏まえた施策の課題と対応方針という記載があると思うのですが、昨年のもものと見比べると全く同じです。令和5年と数字のところが減少傾向が何万人でというのが修正になっているだけで本当にほぼ一緒というのがすごく気になっています。

唯一加わったのが、私が質問をさせていただき、金田先生も質問された、「子育てしやすい環境の整備に関する取組を進めます」という強化するという対応方針の1文だけが増えていました。そのため、その内容が何か質問したところ、授乳室の設置や、子育てパスポートのアプリ化だったわけですが、昨年度の「やや遅れている」のさらに一年前がどうだったか分からないのですが、遅れが見られているのが続いている中で、具体的にどういう対応がされて、それがどういう効果をもたらしたのかということが、できれば説明が欲しかったですし、それでもなお「やや遅れている」ということであれば、そういう説明をいただきたいかったというのがあり、残念という印象を持っているところです。

結婚、出産、子育てに関しては、やはり少子化が非常に深刻な問題ではありますが、県だけでどうこうすることではないというのも重々分かってはいるのですが、毎年同じことだったり対応を繰り返しているのであれば、気になるところです。

○佐藤部会長 改めて評価シートを見ると、達成度は悪くないですね。

○菅原委員 達成度はA、Bと悪くはない。

○佐藤部会長 それで「やや遅れている」と県は評価しているのですよね。何が「やや遅れている」なのか。切実な状況になっているのかどうか。課題と対応方針が同じでしかないとしたら、先程のように低迷しているということと、一方で達成度からみれば、それでも良いのかという指摘もあるかもしれません。

まず、原案は「やや遅れている」でよろしいですか。

○菅原委員 そうですね。達成指標A、Bというところから見ると、「遅れている」するのはおそらく難しいと思うので「やや遅れている」で「適切」で良いと思いますが、課題の捉え方や対応方針をきちんと現状を踏まえて正確に捉えた方が良いのではないかなと思います。

○佐藤部会長 ありがとうございます。今入力していただいています、施策6の意見として追加させていただきたいと思います。他によろしいですか。

それでは、施策6は終わりにさせていただいて次の施策7は「概ね順調」で「適切」。これは仮判定でしょうか。

○狩野委員 施策7はヒアリングした項目だったと思うのですが、状況から言って、あの時に「概ね順調」というのはちょっと高すぎるのではないかというお話をさせていただいた時に、施策6と比較すると7はまだ良いのではないかというような、他の項目と比べて、優劣をつけて良いのかどうかというところはあるのですが、施策6と比較して考えると、「概ね順調」で「適切」ではないかという話になったと記憶をしております。

○佐藤部会長 いかがでしょうか。特に強い御意見がないようでしたら、仮判定のままとなります。目標指標の選び方と目標設定の仕方というのが、達成度でと言われてしまうと、相

対と絶対とあるので、県内の事情と全国で見たらみたいなのもありますしね。本当に難しいですね。

- 菅原委員 目標指標のところではDの判定のものもあるのですが、内容としては朝食を食べる児童の割合であったり、実現に向けた方向性というところに対する関係性、比重からすると、どうしても達成しようとしたら結果としてはDですが、施策の全体としては評価をしてよろしいのではないのでしょうか。

里親に関しても、この前のヒアリングで、受け入れしてくれるような裾野を広げるような取り組みがたくさんされているという御回答もありましたので、施策の全体としては「概ね順調」でよろしいのではないかなと思います。

- 佐藤部会長 ありがとうございます。他にはよろしいですか。狩野先生、よろしいですか。そうすると仮判定のままで。

- 菅原委員 あえて強い意見を出すとするならば、施策7がやはりDがいくつか含まれていることを重く受け止めれば、「概ね順調」ではなく「やや遅れている」になり、施策6も「やや遅れている」ではなく、正直言うと「遅れている」に下方修正というの、選択肢としてはあるのかなとは思いますが。

- 狩野委員 今菅原先生がおっしゃっていたのは、その相対で考えると、施策7を「やや遅れている」にすると、施策6はもっと「遅れている」と、一つを変えると他にも影響するということはどうしても出てくると思います。

施策7で高山先生が御意見として出していただいた、1つの項目で評価するのかという、達成度がDになっているという点を、厳しく見るか、あるいは出していただいた御意見を踏まえて、広がりを見せて、取り組みが積極的になることを期待するのか、どちらが良いのか迷うところであります。

- 佐藤部会長 お名前は出ていたのは高山先生ですか。

- 高山委員 そうですね。今、おっしゃっていただいたとおり、1個でDと判断するのはどうするかというところの判断というか、本当はそういう項目がない方が良いのですが、今ある中で言うと、先程お話いただいたような対応でここに書いてある対応で良いかと思ったりします。

あとは項目ごとのDをどう見るかというところで、私は単純に、Dかどうかを1つの事業を1つの指標として評価するのはやはりおかしいのではないかという話を出させていただきました。そこからDになっているということで言うと、結論があるわけではないのですが、どう考えるかとかを検討しなければならないと思っていましたという感想までです。以上です。

- 佐藤部会長 施策の最終評価を変えると、政策の評価も変わりそうな気がします。

- 金田委員 だいぶ迷っていて考え込んでおりましたが、先生方の話を聞きながら、施策6のところ、私も質問していたのですが、前年度と比べるところまでいっていなかったのですが、少し取組が弱いのかなという感じで見ていました。

あまり進んでおらず、回答はいただいたのですが、このままで良いのかなと思いました。色々な施策に少しずつ関わって、子育てしやすい環境というところの整備がやや単調というか、少し弱いのかと見ていました。

人材育成のところでも、女性の活躍というところが弱かったり、ここでも質問をしたのですが、アプリや子育てパスポートなど、そういうことなのだろうかと思いながら見ていたところがあります。

それで昨年度とあまり中身が変わっていないというところを考えると、どうなのだろうと

思いつつ、そして施策7を検討した時に、バランスを見ると、私が質問した地域全体で支える人づくりのところは、基本的には数や制度、取組としてはかなり進んできているというのは見られたのですが、狩野先生が質問してくださったような困難な環境にある子どもへの支援というところが、難しいのは確かなのですが、なかなか成果が上がっていないことと、先程の高山先生の、ルルブル一つで良いのかというところを考えると、両方を見た時に、一つずつ「遅れている」というところに下げていくということもあるのではないだろうかと思いつつながら、聞いていたところでした。順調と思えるところが、地域協働のところかなと思うので。

○佐藤部会長 難しいのは、施策6は達成度が結構良いのに原案が「やや遅れている」となっていて、逆なんですよ。達成度が低いのに「概ね順調」と施策7では言っている、といったことですよね。

仮に、施策7を「要検討」で下方修正すべきだとしたとして、施策6も「要検討」にして、下方修正して「遅れている」とすると、こんなに達成度高いのに、という見方もありますよね。

例えば、施策7を「要検討」にして下方修正すべきだとしませんか。施策6はそのまま。「やや遅れている」というところにも幅があるので、限りなく「遅れている」に近いのか、限りなく「概ね順調」なのかというのがありますが、その境界はなかなか難しいところがあります。

○狩野委員 中身があまり変わっていないのに、評価だけが変わるということも確かに昨年と違う、私たちも人間なので評価指標が変わったりはしますが、佐藤部会長がおっしゃったように、施策6はそのまま、施策7を「要検討」で下げるということもありかなと思います。

○佐藤部会長 いかがでしょうか。それでは、施策6はそのまま、施策7を「概ね順調」は「要検討」ではないかとしてよろしいですか。皆さん領いていただいているので、そうさせていただきます。

それでは政策3ですが、施策6「やや遅れている」で、施策7も「やや遅れている」ということであれば、政策そのものは「やや遅れている」ですので「適切」だと思います。

○狩野委員 施策6が「やや遅れている」で、施策7も「やや遅れている」ということであれば、政策そのものも「やや遅れている」で「適切」だと思います。

○佐藤部会長 ありがとうございます。他にはありますか。それでは、ないようでしたら政策3は「やや遅れている」で「適切」、意見は特になしとさせていただきます。

それでは次に施策8、これは「やや遅れている」とありますが、よろしいでしょうか。

○佃委員 評価は「やや遅れている」でよろしいかと思うのですが、質問させていただいた項目への答えがよく分からなかったもので、これも指標の問題なのかなと思いました。

指標50、51の将来の夢や目標を持っていると答えた児童生徒の割合が、目標値よりは低いということで、特に50はD判定になっているのですが、伸び悩んでいる点について、この背景をどのように分析しているのかということと、どのように具体的な対策に取り組んでいるのかということについてお聞きしたのですが、御回答は目標値には届いていないけれども、全国調査からは上回っている、大丈夫ですといったような内容だったかと思います。これは、指標としての評価はD判定になっているのに、全国と比べると良いというようなことをおっしゃっているので、どちらを評価軸として、皆さんお考えなのかなというがよく分からないなと思いました。

そうすると、施策評価の目標値に基づいたDという判定が全く実効的なものになっていないことになってしまうと思います。もう少しその辺も踏まえて分析をされた方が良いのかな

と思いました。全国より上だから良いというよりは、自分たちが掲げた目標との関係で、どう効果が出ているのかというところが重要なのではないかと考えております。

○佐藤部会長 ありがとうございます。目標値の設定というのは、担当課室がそれぞれ行っていますね。そうすると、自分で掲げた目標が高すぎたか、エクスキューズをしているということで、それで良いのかという話ですね。

○佃委員 全国評価がどうかというのは、他の質問ではそのような内容がありましたので、その御回答としては良いのですが、私の質問では特に全国評価だからどうかという内容ではないので、全国より良いから良いという話ではないということ、評価の際には意識していただくのが良いのかなと思いました。

○佐藤部会長 それでは意見をつけることにしましょう。私は個人的に逆パターンもあると思っていて、全国的に見たら目標設定が甘すぎるのではないかとというのが、他のところでは多分にあるように思います。なかなか、高すぎるか低すぎるか、目標設定というのにはあると思っています。

○佃委員 評価についての自己分析のところが、少しずらした内容で書かれているように見えてしまうので、目標指標を使うのであれば、それに即した内容を把握されるといいのかと思います。

○佐藤部会長 佃先生、施策8は「やや遅れている」で「適切」で、それはよろしいですか。

○佃委員 はい。「やや遅れている」で良いのかなと思います。

○佐藤部会長 はい。先生方がいかがですか。よろしいですか。それでは、施策8は「やや遅れている」で「適切」。そして佃先生がおっしゃった意見を付けさせていただきます。

続いて施策9ですね。こちらは「概ね順調」。いかがでしょうか。

部会長ではなく、一委員として言わせていただくと、ここも、D、D、Dと低迷している評価項目が見受けられるのですが、それを打開する課題と対応方針になっていないからずっとDなのだろうなと思っていますところでした。

これは先程の話と同じように、打開することができていない割には課題と対応方針がそれでいけるのかな、という感じはしないでもないですね。事前質問の回答でも、なかなかこれなら何かチャレンジしているなという感じには思えない回答になっていて、来年もDだなと何となく思ってしまうたりします。そうであれば課題と対応方針がそれで良いのかと思ったかもしれません。一委員としての発言ですが。

委員の皆様から御意見、「概ね順調」に対して「要検討」ほどではないということでしたら、ここは「適切」となりますが、いかがでしょうか。

遠慮なく「要検討」とおっしゃっていただいても良いのですが、大丈夫ですか。

○菅原委員 確かにDが並んでいるところもあるのですが、実現に向けた方向性というところで、学校、家庭、地域の連携であるとか、あるいは子どもたちが安心して学べる環境づくりというところで、様々なぶら下がっている事業を見た時には、ある程度計画どおりにスクールカウンセラーの配置であるとか、なされているのだと思うので、私は「概ね順調」で良いのかなと思います。

ただ、先程の施策6などにも出てくるのですが、「切れ目のない支援」というのが結構色々なところに出てくるのですが、「切れ目のない支援」とは何だろうかと考えています。その文言はとりあえず置いておいて、内容的には「概ね順調」で良いのではないかなと考えておりました。

○佐藤部会長 よろしいでしょうか。他になれば施策9は「概ね順調」で「適切」の最終判定で、今意見を入れていただいています、意見を付すことにさせていただきます。

そして、政策4全体ですが、こちらは「やや遅れている」です。いかがでしょうか。「やや遅れている」と「概ね順調」で、政策としては「やや遅れている」側に評価原案はなっています。よろしいですか。強い意見がなければ、「適切」にさせていただいて、意見は特にないということでもよろしいでしょうか。

それでは続いて、施策10ですね。施策10、「概ね順調」いかがでしょうか。菅原先生と舘田先生が事前の質問をされているようです。

○舘田副部長 私は「適切」で良いかなと思います。

○菅原委員 私も「適切」で大丈夫です。

○佐藤部会長 はい、分かりました。それでは施策10は特に意見もなしでよろしいでしょうか。それでは「適切」で意見は特になしとさせていただきます。

続いて施策11。こちら「概ね順調」ですがいかがでしょうか。

○舘田副部長 「適切」で良いのかどうか悩ましいなと思っております。5つの指標のうち3つがD判定だという質問をしたのですが、D判定だけ少しずつ上がっていますよという説明で、他にもあったと思うのですが、少しずつ上がっていれば指標はあまり関係ないのかなのかなというあたりが疑問に感じました。

もう一つ、この評価ではないのかもしれないのですが、様々な事業も見た時に、文化や芸術に関するものが少ないのではないかと思います。スポーツなどのことしか書いておらず、どこか別の県の方に「宮城県って文化とか芸術系がすごく少ないよね。」と言われたこともあり、もう少し文化芸術の指標や、あるいは事業があっても良いのではないかと個人的に思いました。ここに書くか書かないかは別ですが、個人の意見として、偏っているのではないかなというところは少し感じました。

○佐藤部会長 ありがとうございます。おそらく事業としてはあるのではないのでしょうか。

○舘田副部長 事業も見たのですが、美術館の建設にすごく予算をかけられて、そこが芸術と言えば芸術なのかと思いつつ、箱物以外の事業がもっとあっても良いのではないかと思います。

○佐藤部会長 指標だけではなく、推進事業にもなかなか足りないのではないかと思います。来年すぐにどうこうというわけではなく、指標の設け方や推進事業の設け方に波及していくようになればと思います。「適切」でよろしいでしょうか。他にいかがですか。

施策11は「概ね順調」で「適切」。舘田先生の御意見を付加させていただきます。

そうすると、いずれも「概ね順調」で「適切」ですので、政策5も「概ね順調」で「適切」になるかなとは思いますが、よろしいですか。何か政策5について意見がもしあれば、よろしいですか。それでは特に意見なしとします。

続いて施策12になります。こちらは「やや遅れている」ですが、いかがでしょうか。事前の質疑応答もたくさんいただいた施策でした。

○舘田副部長 「やや遅れている」で「適切」でやむを得ないのではないのでしょうか。

○佐藤部会長 「やや遅れている」で「適切」ではないかということですが、意見は何かありますか。他の先生はいかがですか。

○高山委員 施策12ですね。質問のExcelにも書かせていただきましたが、Aの項目が1個しかなく、他は全部Dですね。

○佐藤部会長 そうです。「やや遅れている」よりもっと下方修正すべきではないかということでしょうか。

○高山委員 そうです。門外漢なのでわからないのですが、自殺死亡率や、医師の配置数、特養の数などの方が割と重視される項目なのかなとか思いながら、この1つのAをもって「や

や遅れている」にとどめて良いのかということ、どうなのだろうかと思いました。

○佐藤部会長　いかがでしょうか。

○西川委員　私も高山委員の意見を聞いて、やはりAが1つで、Dがこれだけあると、「やや遅れている」というのは少し甘いのではないかなという気はします。県民の生活に関わってくるわけですから、かなり大事な施策だと思います。ここはやはりある程度意見を言った方が良いのではないかなという気がしました。

○佐藤部会長　館田先生、いかがですか。

○館田副部会長　そうですね。厳しく言うと「遅れている」なのでしょう。人材など、この指標は昔から話題になっていたような気がして、医療や看護のところはどうしようもないと聞いていたので、「やや遅れている」で仕方がないかなと思ったのですが、「要検討」でも良いと思います。

○佐藤部会長　それではそうさせていただきます。「やや遅れている」を「要検討」にして、いただいた意見をつけさせていただきます。最終的な文案はまたメールで確認させていただきます。

施策13は仮判定していた施策です。「概ね順調」でしたが、そのままでよろしいでしょうか。

○狩野委員　ヒアリングをさせていただいた時に、精神疾患の指標が大変多い、そこが足を引っ張っているということもあったので、Dが多く見えるけれども、中身的には他の部分を見ると「概ね順調」ではないかなということで、話が進んだように思いますので、「適切」のままで良いと思います。

○佐藤部会長　他の先生方、いかがでしょうか。

○西川委員　先日はオンラインで聞き取りにくい部分もあったので、質問できなかったのですが、障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現で、ユニバーサルデザインの街づくりというのがあるわけですが、もちろんグループホームなどがありますが、インフラ的には低床バスの導入率だけを見ていて、もう少し何か他に暮らしやすい街づくりのためのインフラ整備というのがあっても良いのかなと思いました。

低床バスだけ入れれば良いというわけではないと思うので、ユニバーサルデザインと言った時に、何か他の目標指標があっても良いのではないかと思います。

○佐藤部会長　現状の評価指標には、直接的に関連を強くしている指標が見えにくい。今設けられている指標にしたなら「概ね順調」の判定で「適切」で、意見はありとします。

施策14は「概ね順調」。いかがでしょうか。館田先生だけ事前の質疑応答がありました。

○館田副部会長　指標的には「適切」で良いと思います。様々な分野にわたっていて、事業もデジタルから交通安全まで様々なものが入っているので。ただ指標的には「適切」で良いかと思ひますし、特になかなか意見も述べづらいなと思うので、なしで良いかなと思ひます。

○佐藤部会長　他の先生方よろしいですか。そうしましたら「概ね順調」で「適切」の最終判定で、施策14についての意見は特になしとします。

政策6が「概ね順調」。これは「やや遅れている」と「概ね順調」が2つなので、「概ね順調」ではないかという案です。意見がなければ「適切」になりますが、意見もなしでよろしいですか。

それでは特にないようなので、政策6は「概ね順調」の「適切」で意見もなしとします。

次は施策15。ここは丸尾先生から意見をいただいていたところです。施策15、16と、その上位の政策7について、丸尾先生はいずれも「適切」で良いのではないかと、事前にお話をいただいております。先生方、いかがでしょうか。

○大場課長補佐兼企画員（班長） 事務局で施策15に委員会の意見入れさせていただいているのですが、施策6と同じで、事実の誤認、意見ということではなく、この部分を直せば良いということになるかと思いますので、削除させていただければと思います。

○佐藤部会長 了解しました。それでは、一つずつ確認していきますと、施策15は「やや遅れている」で「適切」でよろしいですか。意見もなしでよろしいですか。

次に、施策16はいかがですか。これも「適切」でよろしいですか。特に意見もなさそうです「適切」とします。

政策7全体については、原案が「やや遅れている」で「適切」となっていますので、政策も「やや遅れている」で「適切」となるでしょうか。意見はありますか。強い意見はなさそうなので、政策7の意見も特になしとさせていただきます。

施策17は「やや遅れている」という仮判定がありますが、意見が入っているので、追加の意見も含めていかがですか。

学校と地域、私も関係していますが、菅原先生、学校、防災系のところ大丈夫ですか。

○菅原委員 これは昨年「要検討」と判定しましたが、原案どおり「概ね順調」としていて、今年は評価原案から「やや遅れている」としたものでしたよね。「適切」でよいと思います。

○佐藤部会長 よろしいですか。判定のままということで、追加の意見も特にないでしょうか。それでは施策18は「順調」で「適切」、意見なしでよろしいでしょうか。

最後に、政策8は、施策がそれぞれ「やや遅れている」と「順調」で、政策としてはその中間の「概ね順調」になっております。「適切」でよろしいでしょうか。政策に対しての意見は何かありますか。それでは政策8の意見は特になしとします。

全ての政策・施策の最終判定と意見を取りまとめたということになります。8政策は「適切」が8で「要検討」が0、政策に付した意見なしですね。

施策については、18施策あるうち、「適切」が16、そして「要検討」が2つとさせていただきました。意見を付した施策が14施策となりました。ここまでで議事2が終わりということになります。

次の議事3は答申案の中身についてとなりますが、事務局から説明をお願いします。

○武田企画・評価担当課長 それでは資料3の下に1と振ってあるページにお戻りいただきまして、このⅠ、Ⅱ、Ⅲの説明をさせていただきます。こちらの内容について御審議いただければと思います。

まず、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの1までについては、日付を変えたりする程度ですので、特に異論はないものと思っております。内容は昨年度と同じ表現でまとめておりますので、御確認ください。

御審議いただきたいのは、3ページ目、Ⅲの2「政策評価・施策評価の判断等に付した主な意見」のところでございます。先ほど御意見について施策を中心に新たに追加で頂戴いたしまして、文言調整などはこれからもう少し詰めていくこととなります。

Ⅲの2のところでは、8政策、18施策全体に対する総合的な意見として記載する箇所としておりまして、例年の表記をベースに、部会と事前質問の中で御提起いただいた意見などを主に盛り込んでおります。下線部が昨年度から表現を変えて、新たに盛り込んだ箇所となっております。

(1)の目標指標の在り方のところですが、こちらの下線部を引いているところ、目標指標のところ御意見いただいた中で、外的要因の影響を受けやすいものや、特定分野に偏っているものがあるなど、施策としての成果を適切に把握することが難しいものが見受けられます。現行指標の妥当性を検証の上、施策の成果の発現状況を段階的に補足できる中間的な指

標の設定や、政策・施策全体の目標及び推進事業の構成を踏まえた指標への変更など、必要に応じ、より政策・施策の成果を適切に把握できる目標指標への見直しを検討されたいという前段の記述をしております。この点についてはこれまでも御意見いただきましたとおり、例えば農業産出額などの指標では、天候や物価にも大きく左右されるというお話をいただきましたし、施策の目標指標として挙げられている推進事業が1つだけであるとか、精神障害者の地域生活への移行という目標指標に偏っているところなども踏まえまして、目標指標の在り方としてまとめて記載した案になっております。

また、この(1)の2段落目、「また」のところでは、実績値の更新に関する部分ですが、評価原案の作成時点で実績値把握困難なものがございまして、昨年度の答申においてもその実績値の更新時期を明記するようというところで、今年度記載するように改めたところではあります。なお、前年度の数値をスライドして、とりあえず記載せざるを得ないという原案もありましたので、年度途中の実績値を踏まえた予測値など、評価に資する情報を記載するよう、そういった趣旨での意見を記載させていただいております。

(2)課題と対応方針につきましては、基本的に従来表現のとおりとしております。先ほど西川委員から頂戴した御意見を踏まえて、こちらの方に少し、人材育成のことをもう少し分かるように入れさせていただくのが良いかなと考えておりました。

人材育成といいますか、そういった人事ローテーションなども踏まえた施策推進にあたってのこういったところも必要ではないかという点と、もう少し、目標指標を達成できない要因というのを、分析というところをここでも書いてはあるのですが、何がボトルネックになっているのかをきちんと分析した上で、施策展開というのを考えていくべきという趣旨と受け取りましたので、そういったところを新しく追記していければ良いかなと考えているところです。

○佐藤部会長 はい、そうですね。

○武田企画・評価担当課長 (3)の政策・施策評価については、こちらは評価に至るプロセス全体に対する御意見などを記載するところで、こちらにも基本的には前年の表現を踏襲しております。事前質問の際に丸尾委員からいただいた御意見を下線部に反映させていただいております。

推進事業の一覧について、各施策においてどの事業に予算額が多く割かれたのか、県民に分かりやすく伝わるようにシート内で可視化できるような記載を検討していただきたいという御意見を踏まえまして、そちらの内容を記載しているところでございます。

以上でこのローマ数字のⅠ、Ⅱ、Ⅲの前段の方の説明を終了いたします。御意見いただければと思います。

○佐藤部会長 はい、ありがとうございます。本日いただいた意見は、最終文案をこれから作っていただきますが、大体網羅していただいているのではないかと思います。何かお気づきの点、御意見はございますか。

答申の最終案は私のほうで確認した上で、委員の皆様には最終確認をしていただく、メール審議の形になります。そういう流れになっていますので、今まで先生方がいただいた意見などが網羅されているのかなど、そういったところで見いただければと思います。大丈夫そうですか。

○狩野委員 目標指標の在り方に関する箇所、「新たな見直しなども検討されたい」という意見が、確かに委員会の中ではたくさん出ていたのですが、実際可能なのでしょうか。前期、中期、後期で3年ごとに目標指標は設定していくということで、もし変えるとするとな後期に向けてという意味合いになるのでしょうか。

○武田企画・評価担当課長 確かに検討する段階としては、確かに後期に向けてというタイミングがまずあります。その他のタイミングで、できるかどうかは検討をさせていただきたいと思います。例えば追加すべきものも、御意見を伺う中ではやはりございます。農業産出額の話などは、高いところの指標になってしまっていて、だいぶ施策の成果が見えにくくなっているのはおっしゃるとおりだと思いましたが、それを残しつつ追加をできるかどうかというのは、前向きに検討させていただきたいと思っております。

令和7年度から9年度までの残りの中期実施計画期間で、今指標自体は設定を昨年度中に一度終えているという事情がありますので、その先というのは、確実に、見直すタイミングというのはあります。できれば、前倒しで追加なりができるように、また指標として追加をするか、その指標の分析の中の記載でもう少し分かるようにしていくか。いずれ、施策の成果をきちんと評価できるような指標なり数字というのをできるだけお示しできるように、改善していきたいなと思っております。

○佐藤部会長 今は答申に何か盛り込むということではないということによろしいですか。

○狩野委員 はい。書かれた方が困らないかなと思ひまして。

○佐藤部会長 次の期でも、最初から設定の段階から意見を踏まえながら設定してくれると良いのになと思うところではあります。他にはよろしいですか。

それでは、最終文案はまた確認いただくとして、本日のところはここまでとさせていただきます。

そうしますと、答申案の構成としては今のⅠからⅢと、先ほどⅣの最終判定、そしてⅤの意見の内訳が書いてあります。最終的にはメールでまた御確認いただきますが、予定としてはどれくらいのタイミングになりそうでしょうか。

○大場課長補佐兼企画員（班長） 現時点での予定としましては、本日いただいた御意見を取りまとめまして、佐藤部長に明日中にはお示しできればと思っております。確認いただいた後に、委員の皆様にお示しするのが30日を予定しておりました。

○佐藤部会長 答申そのものは昨年度もそうでしたが、知事には対面ではなく書面で行うことになっています。答申日については、私と事務局に一任していただければと思います。

それでは、大変時間が長くなって申し訳ありませんでしたが、最終回の部会は、議題としては以上になるかと思います。何か先生方からその他としても何か全体を通しての御意見などございますか。よろしいでしょうか。何かあれば事務局に忌憚のないメールをいただければと思います。

それでは、私の役目はここまでとして、事務局にお返ししたいと思います。お疲れ様でした。

○大場課長補佐兼企画員（班長） 皆様ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして「令和7年度第3回宮城県行政評価委員会 政策評価部会」を終了させていただきます。本日は長時間の審議、誠にありがとうございました。